

## 地方分権下での二重のくまにづくり

―地域内分権と地域コミュニティ―

森下隆生議員

新政みえ（伊勢市選出）

### 問

市町村合併が議論されるとき、「合併をすると周辺地域にきめ細かいサービスができなくなる。」とか、「周辺地域の意見が通らなくなる。」などといった反対理由がよく出ます。私も市の中心部から離れた地域に住む者の一人として、その心配を実感することもあります。そこで、こうした合併を危惧する意見にきちんと応えるためには、身近な課題を身近なところで解決できる自治の仕組みづくりが不可欠です。このためには地域のコミュニティが担う役割も大きいと考えますが、残念ながらそうした仕組みづくりについては、市町村合併を進める中で十分に議論されていません。

そこで、市町村合併を推進し、地方分権にふさわしい三重県づくりを進めている県の立場から、この自治の仕組みづくりはどう取り組まれるのか、お聞きします。

### 答

県では、分権型社会の実現には、市町村合併の推進とともに、地域内分権を進めることが重要だと考えています。このため、住民や市町村職員等からなる「地域内分権システム研究会」を立ち上げ、そのあり方の研究などを行うこととしています。また、研究会では、地域コミュニティについて

も検討していきたいと考えています。さらに、市町村、各種団体をはじめ、住民に対して、地域コミュニティの形成や地域内分権に向けての気運が高まるよう、積極的に働きかけたいと考えています。

- その他の質問事項
- ・ 大規模震災に対する取組



## 川上ダム早期完成

―上野市周辺の浸水被害軽減を―

吉川 実議員

自由民主党・無所属議員団（上野市選出）

### 問

青山町地内で水資源開発公団による川上ダムの建設が進められています。これは、治水、利水、発電を目的とした多目的ダムですが、計画完成年度である来年を控え、現時点で完成のめどが立っていません。また、

河川整備計画策定にあたって、有識者や住民の意見を聞く場として国が設置した「淀川水系流域委員会」は、流域内のダム新設を見直すよう提言しています。一方で、木津川流域の治水対策として、国により上野遊水地事業が進められています。しかし、上野市周辺の浸水被害軽減には、川上ダムと合わせた洪水調節が不可欠です。そこで、環境保全、社会的合意や情報公開を前提としても、川上ダムの早期完成が必要だと考えますが、所見をお聞きします。

### 答

川上ダムは、淀川水系の治水対策の一環として整備が進められているものであり、治水上必要不可欠であると認識しています。また、上野地域を含む木津川上流域の浸水被害軽減のためには、上野遊水地と川上ダム



川上ダム建設予定地

のセットによる洪水調節が必要であるとされています。そのため、今後とも、川上ダムが早期に本体着工、完成がなされるよう、関係機関と連携をとりながら、国及び水資源開発公団に強く働きかけていきたいと考えています。

- その他の質問事項
- ・ バレー構想
- 他

## 教育

―人づくりに道徳教育を―

森本哲生議員

新政みえ（松阪市・飯南郡選出）

### 問

現在、犯罪が増えます増え続け、県議会でも多くの議員が警察官の増員を訴えてきました。また、青少年の非行も低年齢化しています。「こんな日本に誰がした」との気持ちから、腹立たしさと情けない思いを禁じ得ません。しかし、こうした問題の責任について、「親になるための学び、親としての学び、つまり親学が欠けていた」との識者の言葉もあります。全ては私たち大人の責任であり、政治家の責任も大きいと言えるのです。

これらを解決するには教育が全てです。なぜ学ばなくてはならないか、人としてどう生きていかなければならないか、人としてやらなければいけないことやしてはいけないことなど、幼い頃から倫理、道徳教育の強化が重要だと考えますが、所見をお聞きします。